



P R E S S R E L E A S E

* 本リリースは 2014 年 11 月 14 日 (現地時間)に、英国、米国、中国および日本で同時に発表されたプレスリリースを翻訳したものです。

2014 年 11 月 14 日

**CSR、環境雑音キャンセリング (Ambient Noise Cancellation) に対応した
世界初の Bluetooth 統合ハイデフィニション・オーディオ・プラットフォームを発表**

～CSR8675™へのアップグレードにより、OEM 企業は製品を差別化し、
エンドユーザーに高品質オーディオの提供へ～

[CSR plc](#) (ロンドン証券取引所: CSR、NASDAQ: CSRE) は本日、ハイエンド・ワイヤレス・オーディオ製品向けに開発された最新のオーディオ・フラッシュ・プラットフォーム、[CSR8675™](#)を発表しました。高い評価を得て広く採用された CSR8670™ の後継となるこの多機能プラットフォームは、処理性能をさらに向上させており、ハイエンド・スピーカー、サウンドバー、ステレオ・ヘッドセット、ゲーム用ヘッドフォン等の音響機器メーカーは、CSR8675 を採用することで、さらに高品位なオーディオ出力とノイズ・キャンセリング機能を備えた製品をエンドユーザーに届けられるようになります。

CSR8675 には、アップグレードしたデジタル信号プロセッサ (DSP) コアが搭載され、そのパフォーマンスは、前世代製品の 80 MIPS に対し、最大 120 MIPS と大幅に向上しています。これにより、高度なオーディオ処理アルゴリズムに対応できるようになり、極めて品位の高いオーディオ・パフォーマンスが実現可能になりました。高性能コアは、24 ビット・デジタル・オーディオもサポートしており、CSR8675 プラットフォーム上に構築される機器は、洗練されたエンドユーザーの間で需要が高まっている HD オーディオを提供できます。さらに、低レイテンシの aptX® をサポートしているので、エンドユーザーは、ビデオを観ながら同期されたワイヤレス・オーディオを楽しむこともできます。

CSR のビジネス・グループ担当シニアバイスプレジデントであるアンソニー・マレーは、次のように述べています。「最高品質の音響機器を購入するオーディオファンは、ワイヤレス接続による利便性を備えながら、同時にきわめて高音質である製品を待ち望んでいます。CSR8675 の新次元の処理能力とプラットフォームを活用することで、きわだって差別化されたハイエンド製品を開発できるようになるとともに、エンドユーザーに、本当の意味で臨場感に溢れ音楽に浸りきることのできる環境を提供できるようになります」

CSR8675 プラットフォームは、新しい環境雑音キャンセリング (ANC) 機能をサポートしています。これは、現在多くの一般的なヘッドフォンやヘッドセットに利用されているスタンドアロンANC ICテクノロジーに代わるものです。CSR8675は、ANCを追加するために音響機器メーカーに生じる複雑さを解消するだけでなく、部品点数 (eBoM コスト) の大幅な削減とソリューション・サイズ縮小によるメリットを提供します。

CSRのフラッシュ・プラットフォームは、Bluetooth v4.1 をサポートすることでエンドユーザーの使いやすさを向上させると同時に、ベーシック・レートやEDRリンクに加えてBluetooth Smart接続にも対応した機器を開発できるように開発者のイノベーションを支援します。

CSR8675 の主な機能

- ・ DSPのパフォーマンスを最大 120 MIPSに向上
- ・ 統合型高性能ステレオDACおよびADC
- ・ 24 bitデジタル・オーディオのサポート
- ・ 2 x I2Sインターフェイス
- ・ 1 x SPDIFインターフェイス
- ・ 2 x 追加GPIO (CSR8670 に対して)
- ・ Bluetooth v4.1 サポート
- ・ 16Mb内蔵eFlash、最大 64Mb外部シリアル・フラッシュ
- ・ 6 x 静電容量式タッチセンサー入力
- ・ 最大 6 デジタル・マイク入力
- ・ ANCフィードフォワード・アーキテクチャのサポート

###

本プレスリリースは 2014 年 11 月 14 日 (現地時間) に、英国、米国、中国および日本で同時に発表されたプレスリリースを翻訳したものです。原文は <http://www.csr.com/news/pr/2014/csr8675> をご参照下さい

関連リソース

* CSR8675 のスペック、ブロック図、アプリケーション等の詳細 (英語) :

<http://csr.com/products/csr8675-bluetooth-smart-ready>

CSRについて:

CSRは、お客様が世界中のエレクトロニクス市場で成功をおさめるための様々な課題を解決し、変革の核となる技術を提供するため、妥協のない技術革新を進めています (push every boundary™)。CSRの技術者たちが精力的に開発しているのは、ボイス&ミュージック、ドキュメント・イメージング、車載エンターテインメント、Bluetooth(R) Smart、屋内測位システムを中心とした高機能な半導体、ソフトウェア、サービスです。CSRは、世界各地の先進のお客様と連携し、お客様の優れた発想を、市場をリードする製品へと結実させるため、高機能かつ他製品との差別化を図ることのできるテクノロジー・プラットフォームを提供しています。詳細については、

<http://www.csr.com/japan/> をご覧ください。また、CSRの最新の情報は、[テクニカル・ブログ](#)、[担当者ブログ](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも発信しています。CSRの無線オーディオ・コーデックであるaptX(R)の詳細については、<http://www.aptx.com/ja> をご覧ください。

将来予想に関する記述

本プレスリリースには、CSR8675 及びCSR8670、並びにそれが各種家電等製品に搭載された場合に発揮される性能、ならびにその他の将来発生しうる事象、またはそれらがCSRに及ぼす潜在的影響について、過去の事実以外の情報であって、かつ米国の1995年民事証券訴訟改革法(United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において「将来予想に関する記述(forward looking statements)」との解釈が成り立ちうる声明(将来の事業または業績に関する経営陣の計画及び目標に関する所信表明、またはそれらに関する仮定を含む)を含んでいます。これらの予想に関する記述は、上記につき各々「予定である」、「提供できる」、「提供する」、「可能にする」、「強化する」、「実現する」、「設計されている」、あるいはそれらに類似した表現で特定できます。CSR8675 及びCSR8670、またはそれらの技術を搭載した家電製品、周辺機器の性能、機能、または特徴の変更・向上等に際して将来発せられる一連の発表は、そのいずれもがCSRおよびその顧客の継続的評価の対象に服すものであり、実現されるか否かは不確実であり、かつCSRまたはその顧客の確約と見なすことはできず、証券購入の判断に利用するべきではありません。かかる予想に関する記述は、CSRの経営陣の現時点での予想と見解を示すもので、CSRの事業戦略とCSRが事業を行う環境に関与する多数の仮定の上に成り立っているため、未知または既知のリスク、偶発性、不確実性、およびその他要因が複雑に関連し、その多くはCSRによる管理の及ぶ範囲を超える事項に属します。これらの要因の一部は、SECのWebサイト(<http://www.sec.gov>)で公開されているCSRの定期レポート(「Risk Factors(リスク要因)」または「Forward Looking Statements(将来予想に関する記述)」という見出しの下、またはその他の箇所)で詳述されていますが、それらに限定されません。予想に関する各記述は、その日付の時点での記述です。法に定めのある場合を除き、CSRは、ここに記載されている予想に関する記述について更新または改訂があった場合でも、公式にリリースする責任を負いません。

*Bluetooth(R)およびBluetoothロゴは、Bluetooth SIGが所有する商標であり、CSRにライセンスされています。

Wi-Fi(R), Wi-Fi Alliance(R), WMM(R), Wi-Fi Protected Access(R), WPA(R), WPA2(R), Wi-Fi Protected Setup(TM) 及び Wi-Fi Multimedia(TM) はWi-Fi Allianceの登録商標です。

*本文書に記載されているその他の製品、サービス、名称は、該当するそれぞれの所有者の商標である場合があります。

<報道関係お問い合わせ先>

広報代行 株式会社プラップジャパン 谷本

電話:03-4570-3191 E-mail: csr_pr@ml.prap.co.jp

<お客様、ユーザー様お問い合わせ先>

シーエスアール株式会社

深田 学

電話:03-6403-7100 Email: prjp@csr.com